

「はたらきたい」を「はたらく」へ 輝く未来を求めて

令和2年度（2020年度）版



県立特別支援学校一覧

学 校 名	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号	e-mail
盲学校	(視覚障害)	522-0054 彦根市西今町800	0749-22-2321	vi-sh.shinro@pref-shiga.ed.jp
聾話学校	(聴覚障害)	520-3014 栗東市川辺664	077-552-1380	rouwa-sh@pref-shiga.ed.jp
北大津養護学校	(知的障害・肢体不自由)	520-0353 大津市伊香立向在地町25	077-598-3174	kitaotsu-sh@pref-shiga.ed.jp
鳥居本養護学校	(病弱)	522-0004 彦根市鳥居本町1431-2	0749-24-1768	toriyo-sh.shinro@pref-shiga.ed.jp
長浜養護学校	(知的障害・肢体不自由)	526-0806 長浜市今町920	0749-63-9721	nagayo-sh@pref-shiga.ed.jp
伊吹分教室	(知的障害)	521-0226 米原市朝日302	0749-55-8031	nagayo-sh.bun@pref-shiga.ed.jp
長浜北星高等養護学校	(知的障害)	526-0036 長浜市地福寺町3-72	0749-62-0920	hokusei-sh.shinro@pref-shiga.ed.jp
草津養護学校	(知的障害・肢体不自由)	525-0072 草津市笠山八丁目3-111	077-566-0012	kusatsu-yogo-sh@pref-shiga.ed.jp
守山養護学校	(病弱)	524-0022 守山市守山五丁目6-20	077-583-5857	moriyama-sh@pref-shiga.ed.jp
大津分教室	(病弱)	520-0046 大津市長等一丁目1-35	077-525-1276	o-moriyama-sh@pref-shiga.ed.jp
甲南高等養護学校	(知的障害)	520-3301 甲賀市甲南町寺庄427	0748-86-8401	kohnan-sh@pref-shiga.ed.jp
野洲養護学校	(知的障害・肢体不自由)	520-2301 野洲市小南588	077-586-6850	yasu-sh@pref-shiga.ed.jp
北桜校舎	(肢体不自由)	520-2321 野洲市北桜978-2	077-588-2523	
三雲養護学校	(知的障害・肢体不自由)	520-3233 湖南市柑子袋1546	0748-72-4011	mikumo-sh@pref-shiga.ed.jp
紫雲楽校舎	(肢体不自由)	529-1803 甲賀市信楽町牧1019-2	0748-83-1135	mikumo-sh.shinro@pref-shiga.ed.jp
石部分教室	(知的障害)	520-3112 湖南市丸山2丁目3-1	0748-77-8110	
新旭養護学校	(知的障害・肢体不自由)	520-1512 高島市新旭町太田988-6	0740-25-6810	shin-asahi-sh@pref-shiga.ed.jp
八日市養護学校	(知的障害・肢体不自由)	527-0086 東近江市上平木町290	0748-23-1774	yokait-sh.shinro@pref-shiga.ed.jp
愛知高等養護学校	(知的障害)	529-1331 愛知郡愛荘町愛知川102	0749-49-4000	echiko-sh@pref-shiga.ed.jp
甲良養護学校	(知的障害・肢体不自由)	522-0252 犬上郡甲良町金屋1798	0749-38-4880	kora-sh.shinro@pref-shiga.ed.jp



滋賀県教育委員会事務局 特別支援教育課

〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号 電話 077-528-4643

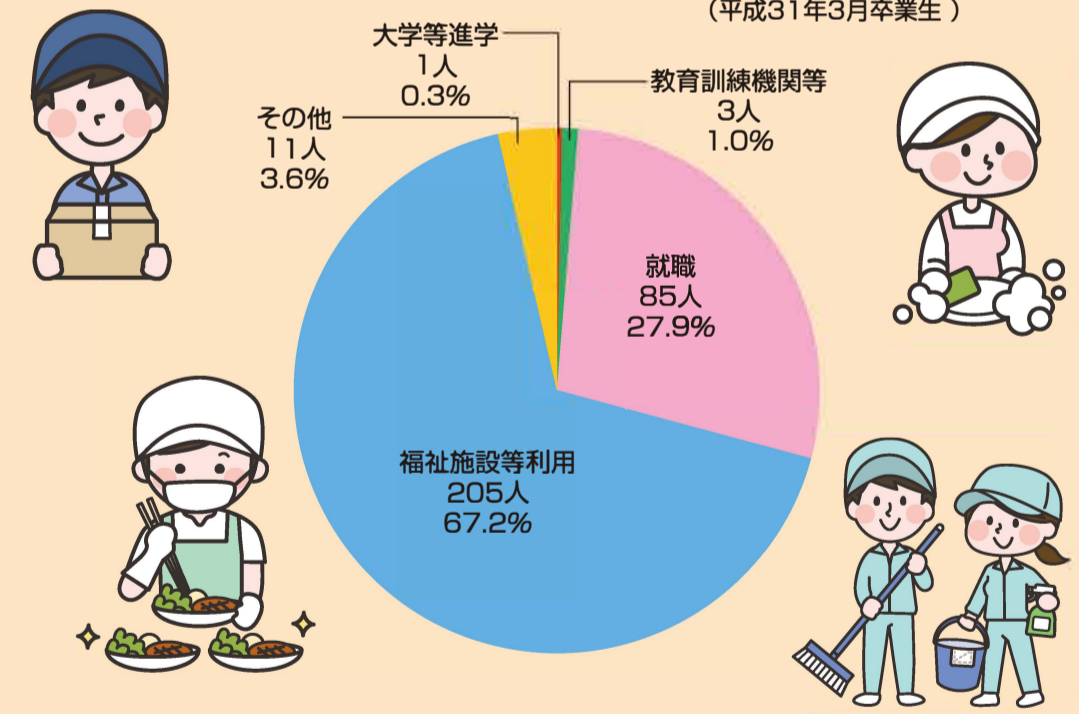


11月1日は
「滋賀 教育の日」です!!

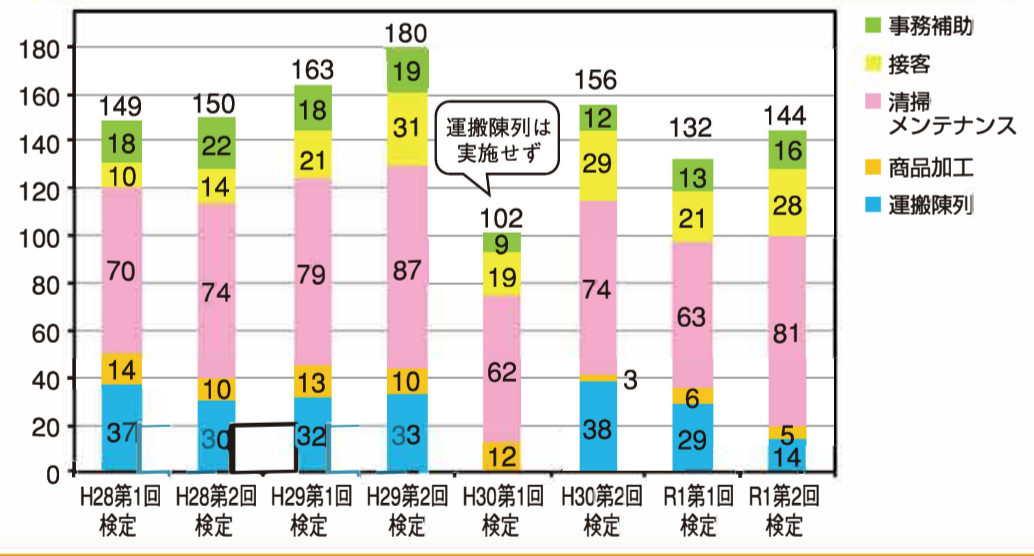
特別支援学校高等部での進路指導の流れと進路状況



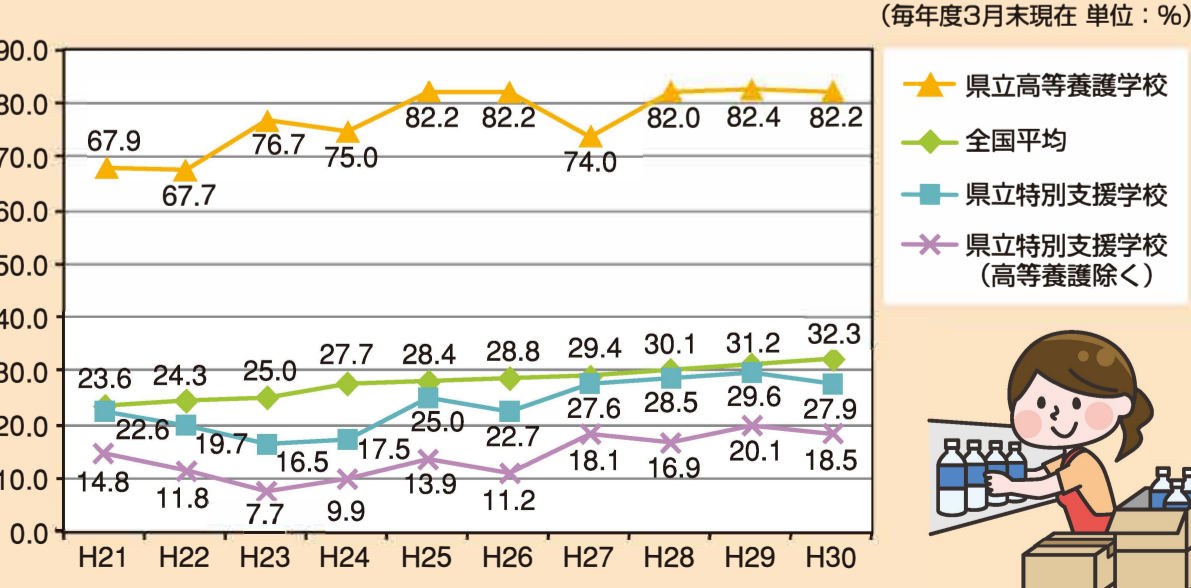
県立特別支援学校高等部卒業生の進路状況 (平成31年3月卒業生)



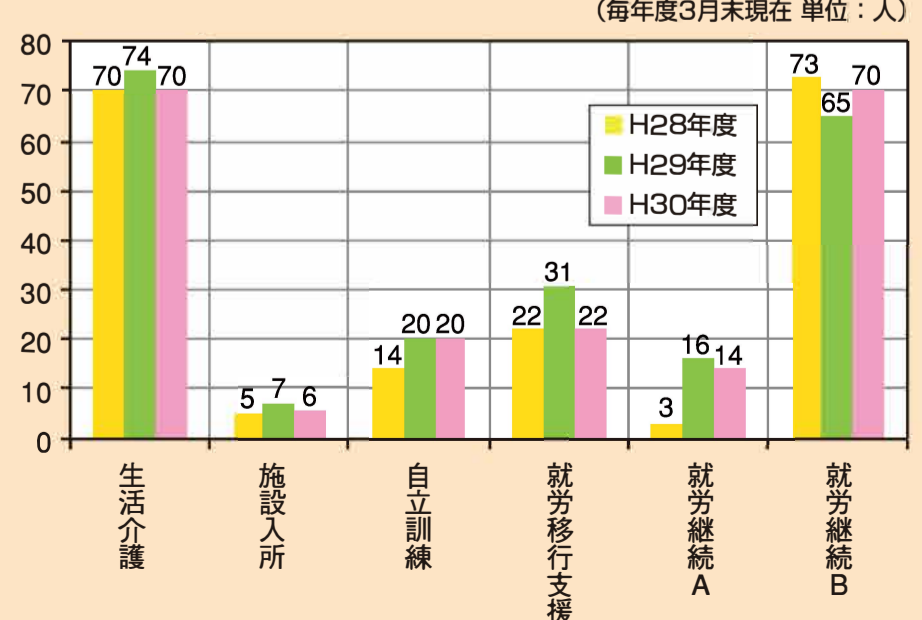
「しがしごと検定」種目別受検者数の推移 (単位:人)



県立特別支援学校高等部卒業生の就職率の推移 (毎年度3月末現在 単位:%)



過去3年間の福祉施設等利用の内訳 (毎年度3月末現在 単位:人)



農福連携推進に係る就農モデル支援事業 ～農業分野への就労をめざして取り組んでいます～

特別支援学校生徒の農業分野における実習先・進路先の拡充をめざし、農業分野と教育分野の連携を進めています。

その第一歩として、農業関係者や企業等へ作業学習（農業）の授業を公開し特別支援学校の取組に御理解をいただくとともに、意見交換会でアドバイス等をいただくなど、作業学習等の改善に取り組んでいます。

今後も授業公開や意見交換会を開催し、農作業用手引書（作業マニュアル）の開発、就業体験先の開拓等、就農支援システムの構築に向けて農業分野とのつながりを求めています！



就業体験の様子



公開授業の様子



作業学習（農業）「田植え」の様子

収穫したもち米は、大福やイチゴ大福に商品化しました。



「しがしごと応援団」にご登録ください！

登録企業
250社！
R2.3.1現在

「しがしごと応援団」は特別支援学校の職業教育を応援する企業の登録制度です。企業見学や実習（就業体験）の受け入れ、作業学習へのアドバイスなど、特別支援学校と連携した取組を通じて、生徒の「はたらきたい」という夢を実現させるための応援をいただきます。

事業の詳細や登録申込の方法についてはホームページをご覧ください。 [しがしごと応援団](#)

実習（就業体験）の受け入れにご協力をお願いします！

生徒一人ひとりの希望や適性をもとに、企業等で働くために必要な力を身に付けるための実習として、事業所の皆さんの御理解を得て実施しています。

Q&A

Q1 就業体験の賃金や手当は？

実習受け入れ先事業所による賃金、交通費等の経費の御負担はありません。
(交通費等は保護者が負担します。)

Q2 実習中にけがをした場合は？

万一のけが等には、学校行事下の事故として「(独)日本スポーツ振興センター」から災害給付金が本人に支給されます。(基本的には受け入れ先事業所の御負担はありません。)

Q3 学校からの指導は？

実習中は、受け入れ先事業所と御相談の上、必要に応じて教員が巡回指導します。

Q4 実習後は雇用することになるのか？

実習が就労に結びつくことは理想ですが、まずは「生徒が将来を見つめ、自立と社会参加に向けての力を養い、自らの進路を決定していくための重要な機会」と考えています。
実習の受け入れイコール雇用ということではありません。

Q5 実習の期間は？

実習受け入れ先事業所と御相談させていただきながら、実習日程を決めていきます。
また、実習中にも臨機応変に調整させていただきます。

